

1 児童館の特徴

- ①児童館の意義:遊びを通じた健全育成活動の場である。
- ②児童館の特性:居場所、イベント、クラブ活動等の健全育成活動のために地域の子どもと保護者に開放している。感染リスクの異なる乳児・幼児・学童・それ以上の子どもが共同で利用する施設である。不特定の子どもが不定期に利用する。

2 児童館における感染症対策のポイント

- ①通所施設における活動場面別の感染対策。
来館時、室内遊び、外遊び、スポーツ、イベント
- ②リスクに応じたゾーニングによる感染症対策。
物理的なゾーニング、時間的なゾーニング、人的ゾーニング
- ③入館時の感染対策。
健康状態の把握、体調チェック表の記入・提出、来館者の連絡先の把握、感染予防対策の周知
- ④消毒等衛生管理。
遊具等共有物の消毒、共有物の使用上注意の周知、トイレ洗面の衛生管理

3 アレルギー対策

(1)定義

食育事業等、飲食をともなう事業が日常的にある中、年々増加する児童の食物アレルギーへの対策も不可欠である。だが、アレルギー反応を起こすとされる食材及び成分は数限りなく多く、市販の食材の成分表記が完璧ではないことや、突然反応が出ることもありうる。よって、完全に防止することが出来ないと考えられ、以下は防止への努力、(アナフィラキシーショックなどのアレルギー反応への)迅速な発見。対応について明記する。

(2)事前対策

- ①乳幼児(幼児グループも含む)を対象とした事業は、保護者が同伴しているので、児童が口にするものについては、充分注意するように保護者に呼びかける。
- ②小学生グループについては、4月の申し込みの時点で、おやつ作り等の料理があることを伝え、アレルギーについての注意を行なう。
- ③申し込みを必要とするおやつ作り等の料理の行事は、保護者からの使用する食材の問い合わせには、できるだけ丁寧に対応する。また、講師及びボランティアがメニューを考える場合も、事前に連携し対応できるようにする。

(3)発生時の対応

和歌山県が示している「学校におけるアレルギー疾患対応指針」を参考に、食物アレルギー緊急時対応マニュアルに従い、適切かつ迅速に行う。